

取扱いの趣旨

抗インフルエンザウイルス薬は、厚生労働省通知に、発症後の治療を目的に使用した場合に限り算定できる旨示されていることから、インフルエンザウイルス感染症疑いに対する算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】

《令和6年2月29日》

58 インフルエンザウイルス感染症疑いに対する抗インフルエンザウイルス薬の算定について

○ 取扱い

インフルエンザウイルス感染症疑いに対する抗インフルエンザウイルス薬の投与は、原則として認められない。

○ 取扱いを作成した根拠等

インフルエンザウイルス感染症の治療及びその予防を効能又は効果とする抗インフルエンザウイルス薬（内服薬、吸入薬）については、厚生労働省通知において、発症後の治療を目的に使用した場合に限り算定できる旨示されている※。

以上のことから、インフルエンザウイルス感染症疑いに対する抗インフルエンザウイルス薬の投与は、原則として認められないと判断した。

（※）オセルタミビルリン酸塩（タミフルカプセル）、ザナミビル水和物（リレンザ）、ラニナミビルオクタン酸エステル水和物（イナビル吸入粉末剤）等

検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	—	
②請求どおり・職員	—	
③請求どおり・審査委員	—	

■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名に「インフルエンザ疑い」の他に「検査後確定」の記載があり、確定患者に投与していることから、妥当と判断した事例

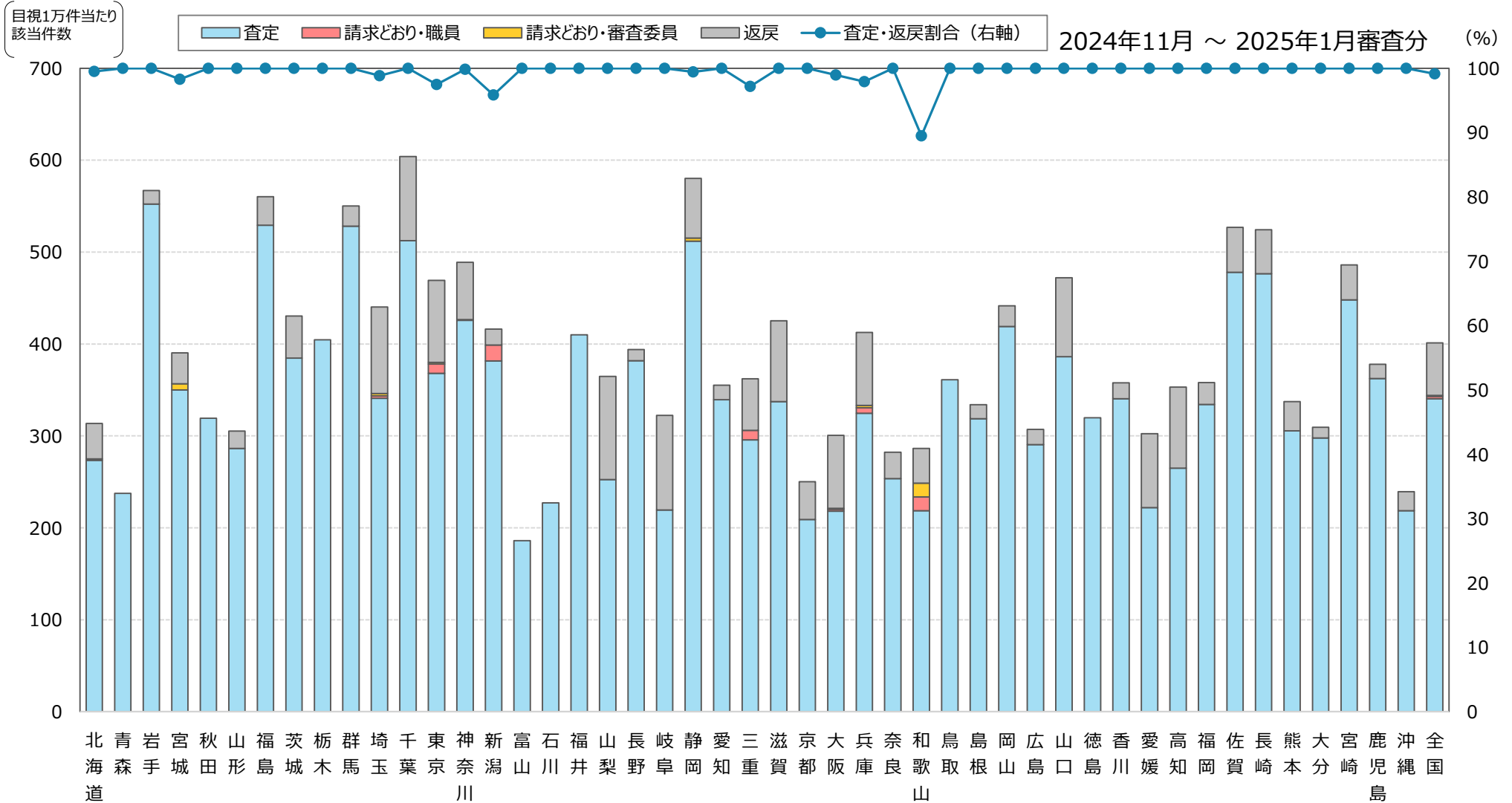
■取扱いと異なる審査がある都道府県の対応状況

少数事例に該当する都道府県は、差異が確実に解消するよう引き続き取扱いの連絡・周知を徹底する

2024年11月～2025年1月審査分

検証の結果、該当件数6,149件のうち、取扱いと異なる審査は2件（0.03%）
検証対象1都道府県のうち、フォローアップ対象都道府県はなし

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



該当件数	195	18	39	58	15	16	72	113	56	100	341	455	947	580	48	8	17	26	39	65	72	170	365	71	58	97	576	338	49	38	20	22	98	111	77	22	41	49	16	255	43	66	74	53	64	73	23	6,149
請求どおり件数	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	24	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	6	7	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	

【該当件数】インフルエンザウイルス感染症疑いに対して抗インフルエンザウイルス薬を算定しているレセプト件数